平成 28 年度事業報告書

社会福祉法人　柏原市社会福祉協議会

平成 28 年度　柏原市社会福祉協議会事業報告

我が国は超高齢社会を迎え、２０２５年には団塊の世代が７５歳以上となり高齢化はさらに急速に進展することが予想されます。高齢化の急速な進展に伴い一人暮らし高齢者や認知症高齢者の増加のほか、地域社会では少子化や経済困窮、無縁状態による孤立化、障がい者差別など多種多様な生活・福祉課題が顕在化、潜在化しています。こうした中、本会では住民参加を基本とした地域福祉の推進を図る組織として「第３次地域福祉計画・活動計画」に基づき行政や関係機関、団体等との協働により地域福祉事業を推進して参りました。また、社会福祉法一部改正にあたり地域社会に貢献する社会福祉法人の使命を責務として経営組織の強化や運営の透明性強化に取り組みました。

平成２８年４月１４日に発生した平成２８年熊本地震は死者１６５名負傷者２６００人を超えるという被害をもたらしました。また、１０月２１日に鳥取県中部地方でも地震が発生し今もなお、再建、復興が進められています。本会は４月２１日に発足した「平成２８年熊本地震柏原市災害支援対策協議会」に参加し義援金募金活動を行い被災地である熊本県南阿蘇市に義援金による支援を行いました。また、本会職員を被災地に派遣し、職員の研修をも兼ねて、ボランティアコーディネーターや貸付業務など、被災地社協の支援活動に取り組みました。

生活困窮者自立支援事業では、最後のセーフティネットである生活保護の受給前に、就労や世帯の諸課題の解決によって自立した生活が送れるよう、関係機関と連携しながら課題の解決を進めました。また、居場所づくりとして「みんなーほのぼの食堂」の実施に向けたフォーラムも開催しました。

柏原市高齢者いきいき元気センター（地域包括支援センター）では介護予防・日常生活支援総合事業の導入を前に高齢者の居場所づくりとして柏原市いきいき百歳体操実施サロンを立ち上げました。さらに認知症対策では相談窓口の強化で認知症地域支援推進員を配置し認知症やその家族が集える場所として認知症カフェ事業の活動を広めました。介護保険事業では「ケアプランこくぶ」を片山町に移転し利用の促進を図りサービスの質の向上と経営基盤強化に努めました。

障がい福祉分野においては柏原市障がい福祉計画に基づき事業に取り組み、福祉サービスの利用援助や地域における生活支援を関係機関と連携し体制強化に努めました。

詳細な事業実施内容は次のとおりです。

１　法人組織運営

（１）理事会・評議員会等の運営

理事会の開催状況		
開催年月日	場所	審議内容
平成28年 5月23日	健康福祉センター	1　平成27年度事業報告 2　平成27年度決算報告 3　柏原市社会福祉協議会評議員の選任 4　善意銀行・福祉基金預託状況
平成28年 8月24日	健康福祉センター	5　居宅介護支援事業所ケアプランこくぶ事務所移転及び訪問介護事業所国分事務所の立上げ 6　介護保険事業運営積立金の取り崩し 7　資金運用規程 8　就業規則の一部変更 9　善意銀行・福祉基金の預託状況
平成28年12月8日	健康福祉センター	10 定款変更 11 定款施行細則介護保険事業の一部変更 12 役員選任規程 13 評議員選出規程 14 評議員選任・解任委員会運営細則 15 有料広告掲載 16 善意銀行・福祉基金の預託状況
平成29年2月16日	健康福祉センター	17 評議員選任・解任委員会委員の選任 18 評議員選任・解任委員の報酬等に関する規程 19 評議員選任候補者の選出 20 定款変更に伴う規程の変更 21 訪問介護事業所（新規）の開設 22 自動販売機設置経営の廃止 23 有料広告掲載料の変更 24 善意銀行・福祉基金の預託状況
平成29年 3月22日	健康福祉センター	25 積立金の会計区分変更・取崩 26 平成28年度補正予算 27 経理規程の変更 28 平成29年度事業計画 29 平成29年度予算 30 善意銀行・福祉基金の預託状況

評議員会の開催状況		
開催年月日	場所	審議内容
平成28年5月25日	健康福祉センター	1　平成27年度事業報告 2　平成27年度決算報告 3　柏原市社会福祉協議会理事・監事の選任
平成28年12月12日	健康福祉センター	4　定款変更 5　定款施行細則

平成29年 3月28日	健康福祉センター	6　定款変更 7　定款施行細則 8　平成28年度補正予算 9　平成29年度事業計画 10 平成29年度予算

監事監査の開催状況		
開催年月日	場所	監査内容
平成28年5月11日	健康福祉センター	下半期決算監査
平成28年11月11日	健康福祉センター	上半期決算監査
評議員選任・解任委員会の開催状況		
開催年月日	場所	内容
平成29年3月7日	健康福祉センター	法改正に伴う評議員の選任
第三者委員の活動状況		
開催年月日	場所	内容
平成29年3月3日	大阪社会福祉指導センター	平成28年度苦情解決第三者委員研修会
《苦情対応実績》		
相談件数		31件
社協への申立後の対応		0件
第三者委員への直接の申立による対応		0件

（２）自主財源の確保

①善意銀行

善意銀行は、市民からの善意の預託を受ける窓口。金員、物品とも指定された施設、団体に払い出した。

○預託等の状況

預託	金額	払い出し	金額
前年度繰越金	0円	柏原市社会福祉協議会	8,507,034円
預託金品	9,295,429円	柏原市民生・児童委員協議会	788,398円
利息	3円		
合計	9,295,432円	合計	9,295,432円
次年度繰越金			0円

②福祉基金

地域に根ざした在宅福祉サービス事業、ボランティア事業を展開し、地域福祉の増進に寄与することを目的に基金を設置し、その果実を運用した。

基金設置日　昭和60年12月6日　　前年度末基金積立額　322,275,971円
本年度末基金積立額　322,275,971円

寄付金及び基金果実		払い出し	
本年度受付寄付金	0円	基金積立	0円
基金果実	4,700,000円	法人	4,700,000円
(内府債購入時差額前払金)	38,650円		
合計	4,700,000円	合計	4,700,000円

③会員会費

種類	件数	金額
組織構成会費（正会員）	35件	858,000円
特別賛助会費	86件	650,000円
住民賛助会費	19,944件	9,281,700円
合計		10,789,700円

④清涼飲料水自動販売機設置運営事業

市内公共施設　25ヶ所に39台設置。手数料収入収益により、福祉活動団体の活動を支援した。平成28年度にて事業を終了し柏原市へ移管する。

⑤有料広告掲載事業

社協の広告媒体に民間企業等の広告を有料掲載し、社協の新たな財源確保とともに地域経済の活性化と市民サービスの向上を図ることを目的として実施した。

社協かしわら１月号・・・広告１件　（阪南システムマシン株式会社）

（３）広報啓発活動

○社協かしわら発行（年4回　全戸配布）
○ホームページの更新
○フェイスブックの更新

（４）共同募金運動

実施者　　柏原地区共同募金会
期　間　　平成28年10月1日～12月31日
協　力　　柏原市区長会、柏原市民生・児童委員協議会、柏原市内小中学校他

○共同募金

実績額	
街頭募金	189,010円
法人募金	840,700円
戸別募金	3,373,661円
職域募金	311,854円
学校募金	108,008円
バッジ募金	510,000円
その他	66,801円
合計	5,400,034円

○歳末助け合い募金

協　力　　ボーイスカウト柏原第1団及び第3団、YKホットフォーラム
　　大阪東部ヤクルト販売株式会社
期　間　　平成28年12月1日～12月31日
実績額　　合計　169,636円
　　配分先　社会福祉法人柏原市社会福祉協議会
　　(認知症高齢者支援事業)

（５）災害対策の強化

①柏原市社会福祉協議会災害対策本部設置シミュレーションの実施

日時　　平成28年9月9日（金）
場所　　自立支援センター

②平成28年熊本地震柏原市災害支援対策協議会事務局の運営

加入団体　平成29年3月31日現在　　34団体
義援金　　平成29年3月31日現在　　6,352,584円

（経過）

4月14日　21時26分熊本県熊本地方でM6.5地震発生
4月16日　1時25分熊本県熊本地方でM7.3地震発生
4月21日　「平成28年熊本地震柏原市災害支援対策協議会」発足
5月17日　平成28年熊本地震柏原市災害支援対策協議会会議の実施
7月13日～7月14日　熊本県視察、南阿蘇村へ義援金の目録贈呈
5,003,308円送金

③災害による職員派遣

「平成28年熊本地震」
6月13日～6月17日　熊本県へ職員派遣「震災特例緊急小口資金」
7月8日～7月13日　熊本県へ職員派遣「災害ボランティアの運営」
「鳥取県中部地震」
11月5日～11月6日　鳥取県へ職員派遣「災害ボランティア活動」

④柏原市福祉・防災マップづくりプロジェクトに参加

柏原ライオンズクラブ・関西福祉科学大学の共催事業に、柏原市とともに後援機関となり協力した。研修の講師としても協力。
事務局会議（月1回）、調査員養成研修(年5回)、各種調査に参加。

（６）安全衛生委員会の運営

労働者の危険または健康障害を防止するために､安全衛生委員会を設置し労働災害の予防再発防止対策等を定期的に審議した。
委員会の開催　　月１回　定期開催

（７）人権研修の実施

職員の人権に対する啓発意識を高めるために研修会の実施や市の研修会に参加した。
内容　　「人権腕だめし」
参加　　75名

（８）社会福祉士の実習

①社会福祉士実習受け入れ

社会福祉士有資格者数：15名(実習指導者研修修了者8名)

②実習受入実績

○相談援助実習　7大学1専門学校　11名（1人あたり180時間）
○社会福祉インターンシップ　1大学　1名
○地域看護学実習　1専門学校　8名（5日間）

２　地域福祉活動推進

（１）福祉あんしん相談員（CSW）配置促進事業の推進

地域における高齢者・障がい者・ひとり親家庭・ひきこもりの方・生活に困窮している方など、援護を必要とするあらゆる方々からの相談対応や見守り等を行った。

柏原市いきいきネット相談支援センター（福祉あんしん相談員の担当箇所）

○柏原市健康福祉センターオアシス３階
○柏原市立自立支援センター
○老人福祉センター「やすらぎの園」
○国分合同会館

出張相談会

○オガタ通り「ふれあい館オガタ」　日時：第４金曜日　14 時～16 時
○国分合同会館　保健センター　日時：毎週水曜日　14 時～16 時

①相談支援実績

【対象者別】

相談対象者	相談者延人数(名)	相談者数	新規相談件数
高齢者	462	333	35
（うち）一人ぐらし	344	259	26
（うち）高齢者のみ	118	74	9
障がい者	220	103	14
（うち）身体	12	9	3
（うち）知的	15	11	2
（うち）精神	193	83	9
子育て中の親子	29	21	6
ひとり親家庭の親子	26	13	2
ホームレス	5	5	0
外国人（中国帰国者含む）	0	0	0
その他	222	112	17
合　計	964	587	74

【内容別】

相談内容	のべ件数	相談者数
福祉制度・サービスに関する相談	232	144
生活に関する身近な相談	495	296
健康・医療に関する相談	140	65
生活費に関する相談	83	50
就労に関する相談	26	18
多重債務に関する相談	2	2
ＤＶ・虐待に関する相談	2	2

地域福祉・ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動に関する相談	45	40
住宅に関する相談	15	9
子育て・子どもの教育に関する相談	5	5
その他	30	23
合　計	1,075	654

（相談内容は重複あり）

②関係機関との連携

各種関係機関の連携会議に積極的な出席を行ったほか、個別ケースにおいても情報提供やケース検討会議を開催するなどして連携の強化を図った。

③広報啓発活動

○民生・児童委員協議会、地区福祉委員会への「みんな―ほのぼの食堂」事業説明

○関係機関へのチラシ配布，CSW 活動報告作成，

○出前講座の実施

高齢者の生活に必要な事柄について

④ＣＳＷ（福祉あんしん相談員）フォーラムの開催

開催年月日・場所	内容	参加者
平成 28 年 8 月 2 日 健康福祉センター	こども食堂～こころとおなかをまーるくえがお～ 講師：舞鶴　正吉氏　（社会福祉法人グロー老人ホームながはま副所長）	70 名
平成 29 年 2 月 22 日 健康福祉センター	聴いて！話して！！コミュニケーション入門　第 1 回 講師：奈良 雅美 氏　（あしや NPO センター） 内容：コミュニケーションや話し相手となるボランティア活動において必要なスキルを学ぶ入門編	29 名
平成 29 年 3 月 1 日 健康福祉センター	聴いて！話して！！コミュニケーション入門　第 2 回 講師：柏原市社会福祉協議会　CSW 他 内容：介護保険や障がい者支援・相談窓口などについて、傾聴ボランティアとして活動した際に必要になる知識を学ぶ。	29 名

⑤行方不明者早期発見ネットワーク事業「さがしてねっと」

認知症高齢者・障がい者・児童で、徘徊により生命の危険や健康を損なうおそれのある方に事前登録していただき行方不明者が発生すれば「お見かけ協力員」として個人登録された方に情報発信を行い行方不明者の早期発見・安全確保を地域ぐるみで行った。

事前登録新規登録者　　5 名　　（登録者数計　　20 名）
お見かけ協力員新規登録者数　　0 名　　（登録者数計　　101 名）
平成 28 年度の情報発信発動件数　　0 件

（２）小地域ネットワークの推進

○個別援助活動

ひとり暮らし高齢者等の援助を必要とする方々が地域の中で安心して暮らせるよう、地区福祉委員、近隣住民等による定期的な見守り訪問援助活動等を行った。ひとり暮らし高齢者登録数：1,927 人

○グループ援助活動

各地域でひとり暮らし高齢者などが地域の会館に集まり仲間づくりをするふれあいサロン等の活動を地区福祉委員会等が中心となって行った。

○世代間交流事業の推進

地域の高齢者と小学生や中学生などの世代を超えた交流事業を各地域で行った。

①地区福祉委員会

○主な事業

事業名	柏西	柏東	堅北	堅中	堅南	国東	国中	国西	堅上
ひとり暮らし高齢者の会		○	○				○	○	
地区だより発行	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ひとり暮らし友愛訪問	○	○	○	○	○	○	○	○	○
敬老訪問	○	○	○	○	○	○	○	○	○
寝たきり高齢者友愛訪問		○				○	○	○	○
小地域ネットワーク活動	○	○	○	○	○	○	○	○	○
世代間交流	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ふれあいサロン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
子育て支援	○	○	○	○	○	○	○	○	
災害時安否確認マップの作成						○			
緊急医療情報シートの配布	○	○	○		○	○	○	○	○

○研修会

開催年月日・場所	内容	参加者
平成 28 年 6 月 28 日 健康福祉センター	地区福祉委員会子育て担当者交流会	15 名
平成 28 年 7 月 26 日 健康福祉センター	地区福祉委員会ふれあいサロン担当者交流会	17 名
平成 28 年 10 月 14 日 健康福祉センター	「こどもの居場所作りはこども食堂から」 講師：川辺　康子　氏 （にしなり隣保館　スマイルゆ～とあい）	35 名
平成 29 年 2 月 8 日 大阪国際交流センター	小地域ネットワーク活動リーダー研修会	5 名
平成 29 年 2 月 23 日 兵庫県西宮市	役員研修会 西宮市社会福祉協議会　地域共生の取組み	14 名

○地区福祉委員会委員長連絡会の開催

平成 28 年 4 月 27 日、8 月 30 日、12 月 5 日、平成 29 年 3 月 2 日　計 4 回

②ひとり暮らし高齢者友愛訪問事業

毎月１回、地区福祉委員によるひとり暮らし高齢者宅へ粗品を持参しての見守り安否確認を実施した。また各地域おいて、友愛訪問の実施日やふれあいサロン開催のちらしなどを配布する見守り援助活動も行った。

訪問者数：のべ17,678名

③ひとり暮らし高齢者愛の一声訪問事業

７５歳以上のひとり暮らし高齢者の安否確認と緊急時の連絡確保を目的に、共同募金の配分金を財源とし、事業者に委託して週２回（月・金曜日）乳酸菌飲料を訪問配布した。

対象者数：約920名　　年間配布本数：約84,000本

（３）ボランティア・市民活動センター事業の推進

ボランティア活動の普及啓発、情報提供、相談、講座、研修、活動支援といったセンター事業を実施し、誰にでもわかりやすく、親しみやすいボランティア・市民活動センターの運営に努めた。

①ボランティア活動の状況

○登録状況

グループ（74グループ）	個人登録	合計
1,877名	36名	1,913名

○依頼状況

福祉関係	社協	行政機関	団体	学校	地区福祉委員会	その他	計
96件	7件	1件	17件	6件	29件	21件	177件

○ボランティア・市民活動センター会議

開催年月日	内容	参加者
平成29年3月24日	第1部　事務連絡・各団体より活動紹介 第2部　グループディスカッション テーマ「新たな活動場所・役割の開拓」	44名

②ボランティア講座

開催年月日	内容	参加者
平成28年7月20日 ～9月28日	要約筆記奉仕員養成講座　（全11回） 協力：要約筆記通訳グループ「てくてく」	5名
平成28年9月5日、9月12日、9月26日、10月3日	朗読ボランティア養成講座　（全4回） 講師：日本話しことば協会講師	8名
平成28年12月12日、12月19日、12月26日	災害ボランティアコーディネーター養成講座（全3回） 協力：柏原市災害ボランティアコーディネーター会	15名
平成28年11月10日～ 平成29年1月19日	入門点訳ボランティア講座（全10回） 協力：ボランティアグループ　野いちご会	1名

③ボランティア表彰

ボランティア功労者厚生労働大臣表彰（どんぐりころころ）

大阪府社会福祉ボランティア表彰（ヘルスMかしわら）

④ボランティア相談会

毎月第2金曜日　13時30分から15時30分　健康福祉センター

相談会以外の日にも随時相談に応じた。

⑤防災とボランティア週間　講演会（地域における「防災」について）

開催日時：平成 29 年 1 月 21 日（土）10:30～12:00
場所：健康福祉センター「オアシス」3 階　講座室 1,2
参加者：53 名

⑥災害ボランティアセンター設置・運営シミュレーション

柏原市災害ボランティアセンター設置・運営シミュレーション訓練を災害ボランティアグループと職員で行った。
開催日時：平成 29 年 1 月 21 日(土)　13:00～15:00
参加者：40 名
場　所：健康福祉センターオアシス　3 階地域交流ﾎｰﾙ・講座室 1,2

⑦朗読ボランティア河南ブロック代表者会議開催

開催日：平成 28 年 10 月 18 日（火）
場　所：藤井寺市　福祉会館　講座室
内　容：7 市の朗読ボランティアによる情報交換会、柏原より 3 名（事務局含む）参加

⑧ボランティア連絡会

○ボランティア連絡会代表者会議の開催　毎月 1 回
○柏原市ボランティア連絡会結成 20 周年記念大会を第 17 回ボランティア展・河南ブロック交流会とリビエールホールにて同時開催。

開催年月日・場所	内容	人数
平成 28 年 9 月 19 日 柏原市民文化会館 「リビエールホール」	柏原市ボランティア連絡会結成 20 周年記念大会 第１７回ボランティア展 河南ブロック交流会	297 人 297 人 42 人

○各種行事への参加

開催年月日・場所	行事名	内容
平成 28 年 6 月 5 日 柏原市役所駐車場	環境フェア	おにぎり・ジュース販売、バザーなどの出店・ステージ発表
平成 28 年 11 月 20 日 柏原市役所駐車場	第 28 回 柏原ふれあい広場	クッキー販売、クラフト体験、お茶席などの出店・バザー・展示・ステージ発表

○広報啓発活動

ボランティア連絡会だより「アゼリア」を発行
年 4 回　　部数　2,000 部

○大阪府市町村ボランティア連絡会への参加

開催年月日	内容	参加者数
平成 28 年 5 月 20 日	総会	5 名
平成 28 年 4 月 4 日､7 月 25 日、9 月 26 日、11 月 7 日、平成 29 年 1 月 27 日、3 月 31 日	役員会	1 名
平成 29 年 3 月 8 日	代表者会議	4 名
平成 29 年 3 月 8 日	合同研修交流会	4 名

○視察研修会

開催年月日	場所	参加者数
平成 29 年 3 月 14 日	阿倍野防災センター、明治ヨーグルト館	33 名

⑨くらしのサポートサービス事業

本事業は、日常生活のちょっとした困りごとを手助けするもので、手助けを受けたい高齢者等と手助けしようという協力者が会員になり支えあう相互援助活動に関するコーディネートを行った。

利用料： 1時間につき700円（平日9時から17時まで、それ以外は900円）

○会員数及び活動状況

会員状況			活動状況	
依頼会員数	協力会員数	合　計	依頼件数	派遣回数
311人	57人	368人	389件	4,668回

（4）日常生活自立支援事業の推進

認知症高齢者や知的・精神障がい者などで判断能力の不十分な方に福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理及び書類保管サービスを提供した。

①相談件数

内容	本事業の利用に関するもの				その他	合計
対象者 / 事項	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	不明・その他		
a. 問い合わせ件数	23	1	15	0	0	39
b. 初回相談件数	10	0	11	0		21
c. 相談援助件数等（専門員による訪問含む）	439	244	1,692	0		2,375
合計	472	245	1,718	0	0	2,435

②平成 28 年度の契約者数等

対象者 / 内容	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	生活保護（再掲）	合計
①H27 年度末利用者数	14	7	27	0	27	48
②新規契約者数	1	0	4	0	3	5
③契約終了者数	4	1	3	0	6	8
④年度末利用者数①+②-③	11	6	28	0	24	45

③訪問回数

1,466 回　（延べ回数）　　左記の内生活保護受給者支援回数　812 回

○広報啓発活動

平成28年7月　　ホームページ作成

（５）生活困窮者自立支援事業

柏原市役所に「柏原市生活支援相談窓口」を設け、総合生活相談として対象を広く捉え伴走支援を実施。また、法の目指す自立には経済的な自立のみならず、日常生活における自立や社会生活における自立も含まれていることから社会的孤立（引きこもり）状態にある方に対しても支援を実施する。老人福祉センターやすらぎや柏原市内の社会福祉法人での就労訓練等、スモールステップ型の就労支援体制を柏原市とともに整備した。

①支援実績

相談のみ・他機関に繋ぐ	プラン作成	合計
64 件	92 件	156 名

就労者数	増収者数
50 件	40 件

②講習会等

日時　：平成 28 年 8 月 26 日
場所　：フローラルセンター（柏原市役所別館）
内容　：「社会的孤立の現状と課題」
対象者：柏原市民生・児童委員、地区福祉委員、ボランティア等
講師　：岩間 伸之氏（大阪市立大学大学院生活科学研究科　教授）
　　津崎　信吾氏（大阪府福祉部地域福祉推進室社会援護課生活支援グループ主査）
　　古賀 真名美氏（当事者：柏原市自立相談支援事業利用者）

③会議・研修等

【研修】
○厚生労働省主催　「相談支援員従事者研修」
○大阪府主催　「生活困窮者自立支援事業法律相談事例研修会」
○大阪府社協主催　「平成 28 年度マッセ・市民セミナー」
　「生活困窮者自立支援事業実践交流会」
○近畿地域福祉学会　「平成 28 年度近畿地域福祉大会」
【講師】
○大阪府主催　「就労訓練事業に関する自治体並びに認定生活困窮者就労訓練事業所の交流、事例報告及び意見交換会」
○柏原市役所主催　「平成 28 年度　就労支援セミナー」
【会議】
○柏原市支援調整会議（１ヶ月１回）
○柏原市支援調整全体会議（平成 28 年 9 月 26 日）
○「大阪府生活困窮者自立支援制度担当課長連絡会議」（3 ヶ月 1 回）
○中・南河内地区生活困窮者自立支援制度会議（平成 29 年 2 月 22 日）
○生活困窮者支援連携会議（3 ヶ月 1 回）
○柏原市産業振興課・社会福祉課・教育委員会との連携会議（2 ヶ月 1 回）

（６）ファミリーサポート事業の体制強化

本事業により、育児の援助を行いたい人と、育児の援助を受けたい人を組織化し、相互援助活動に関するコーディネート、アドバイス等を行った。

利用料：1時間につき700円（平日7時から19時まで、それ以外は800円）
○会員数及び活動状況(平成29年3月末現在)

依頼会員数	援助会員数	合　計
322人	131人	453人

①実績

内　　容	回　数
保育施設の登園前の預かり及び送り	3回
保育施設への迎え及び預かり	26回
保育施設への送迎	89回
学校の始業前・放課後クラブの開始前の預かり及び送り	28回
学校の放課後・放課後クラブの終了後の迎え及び預かり	73回
学校・放課後クラブの送迎	36回
病気回復期の預かり	0回
病児預かり施設利用を伴う預かり及び送迎	0回
子供の習い事等の援助	82回
保育施設・学校等の休み時の預かり	3回
買い物など外出の際の預かり	5回
保護者の就労・求職活動中の預かり	9回
冠婚葬祭や学校行事に伴う援助	2回
保護者のケガや病気、その他急用の場合の援助	3回
その他	15回
合　　計	374回

②広報啓発活動

○ファミサポサロン「ぴよぴよ」運営
○第2・第4水曜日午前中、市民交流ひろば3階で開催
○9月より日時は同様で、ほのぼのかたしもで開催

③講習会等

○講習会（援助会員対象）　10回　　○交流会　　2回

（7）ほのぼのかたしも運営支援

地域住民で構成された管理運営委員会が中心となり管理運営し、地域福祉活動の拠点として、特に高齢者や子育て中の方がくつろげる場を提供した。

○所在地 平野1丁目12-1
○利用状況

開所日	のべ入館者数	のべ足湯利用者数
236日	7,183名	2,545名

（8）市民交流ひろば運営支援

利用登録団体で構成される管理運営委員会が中心となり運営し、ボランティアグループや各種団体等に会議・研修等の活動スペースを提供した。

○所在地　今町1丁目2-26

○利用状況

登録団体	のべ利用団体数	のべ利用者数
46	1,237	14,836 名

○会議の開催

平成 28 年 7 月 21 日（木）　管理運営委員会
平成 28 年 9 月 15 日（木）　全体会議
平成 29 年 2 月 20 日（月）　管理運営委員会
平成 29 年 3 月 22 日（水）　全体会議

（９）大阪府生活福祉資金貸付事業

①貸付相談件数

のべ105件

②緊急小口資金

生活困窮者世帯が緊急的かつ一時的に生計の維持が困難になった場合に、その必要な経費について少額の貸付を行い、生活困窮者自立支援事業等との連携により、当面の課題の解決と世帯の自立の支援を図ることを目的としている制度

貸付限度額　　10万円
貸付件数　　5件
貸付金額　　412,000円

③大阪府生活福祉資金

国と大阪府が出資し低所得者・高齢者及び障がい者等の世帯を対象に低利で必要な資金を貸付し、安定した生活を営むために利用できる制度

新規貸付内容

種類	件数	金額
教育支援資金	2件	888,000円
総合支援資金	0件	0円
生活福祉資金	5件	983,000円
合計	7件	1,871,000円

(10) 柏原市民生・児童委員協議会事務局の運営

平成 28 年 12 月 1 日に 3 年に一度の一斉改選があり、29 名の民生児童委員が退任され、新たに 31 名が誕生し、定数 143 名の民生児童委員が厚生労働大臣より委嘱されました。

○民生児童委員活動の推進を図るために、定例会内でのミニ研修や全体研修会等、充実した研修会を開催した。

○5 月 12 日の民生・児童委員の日にあわせて街頭ＰＲ活動を実施
駅前やスーパーの店頭など市内各地で民生・児童委員ＰＲのポケットティッシュを配布し、民生・児童委員活動の周知・啓発に努めた。

○定例会後に地区懇談会を開催し、委員活動における課題共有を図った。

(11) 柏原市民間社会福祉施設連絡会（地域貢献委員会）

当協議会が事務局となり、生活支援事業の実施、柏原ふれあい広場への参加による周知活動、共同募金の協力を行った。

実務担当者会議　　5回
役員会　　1回
定期総会　　平成29年3月15日（水）開催

(12) ふれあいの家　ほのぼの

地域住民で構成された管理運営委員会が中心となり運営し、高齢者が要介護状態にならないよう、住み慣れた地域での閉じこもり防止及び生きがいづくりのための活動を行った。

○利用者　おおむね65歳以上の自立の方（登録制）
○利用料　100円・昼食500円
○開所日　火・金曜日の週2日
○所在地　国分本町7丁目10-87
○利用状況

開所日	登録者数	のべ利用者数
91日	30名	1,013名

(13) 第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画の単年度評価

関西福祉科学大学の協力を得て進捗管理委員会を設置した。目標とする「子どもから高齢者、障害者等、誰もが地域の支えあいの中で活きいきと暮らしている」社会の実現を目指し、28年度評価を取りまとめ、今後の方向性について検討を図った。
○進捗管理委員会の開催　10月28日

3　地域包括支援センター（高齢者いきいき元気センター）

(1) 総合相談支援の充実

高齢者いきいき元気センターの相談件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数（延べ）		124	171	140	178	159	177	148	186	182	202	191	278	2,136
受付形態	電話	94	117	91	107	96	107	83	110	121	119	119	186	1,350
	訪問	16	34	36	49	26	38	35	47	41	50	40	74	486
	来所	14	20	13	22	37	32	30	29	20	33	32	18	300
相談経路	本人	31	27	15	37	27	40	27	29	35	35	41	64	408
	家族親族	39	45	58	56	74	59	54	57	68	65	60	106	741
	居宅介護支援専門員	19	32	18	28	25	28	19	43	36	47	29	33	357
	民生・児童委員	7	4	6	6	7	7	5	3	6	9	15	10	85
	病院・医師	10	11	7	9	8	5	4	11	12	9	7	23	116
	事業所（者）	2	4	2	8	3	11	10	8	3	4	15	11	81
	関係機関	7	28	16	6	2	5	13	25	16	13	14	21	166
	その他	9	20	18	28	13	22	16	10	6	20	10	10	182
相談内容	高齢者虐待	3	4	10	4	2	0	0	2	0	5	5	0	35
	権利擁護相談	1	3	1	1	3	1	1	5	0	6	1	0	23
	住宅改修	5	5	9	15	15	6	6	11	6	14	15	26	133
	処遇困難	11	10	2	3	4	4	8	31	30	21	8	13	145
	介護支援専門員支援相談	16	21	26	12	9	18	16	33	19	22	16	28	236

	介護保険申請代行	30	22	20	34	21	15	26	14	26	29	38	52	327
	介護保険関係(在宅)	33	36	40	63	53	78	48	42	84	64	64	122	727
	介護保険関係(施設)	1	1	0	1	0	4	4	10	2	7	5	1	36
	地域ケア会議	0	0	0	0	0	0	3	5	0	0	1	2	11
	経済支援	1	0	0	1	0	0	0	6	2	4	0	0	14
	サービス担当者会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	29	46	32	30	34	48	45	32	36	60	31	47	470

（２）権利擁護事業

障がい者虐待防止センターと合同で各事業を実施した。

①高齢者・障がい者虐待防止ネットワーク会議

開催年月日・場所	内容	参加者
平成 28 年 10 月 14 日 健康福祉センター	柏原市高齢者・障がい者虐待防止ネットワーク研修会について、柏原市の高齢者・障がい者虐待への意識調査について、柏原市の高齢者・障害者虐待対応の実績及び報告について	28 名

②柏原市高齢者・障がい者虐待防止ネットワーク会議　研修会

開催年月日・場所	内容	参加者
平成 29 年 2 月 24 日 健康福祉センター	認知症・行動障害等の方への支援及び対応について	52 名

③虐待防止連携会議

柏原市役所、障がい者虐待防止センター、高齢者いきいき元気センターにより月１回会議を行い、ネットワークに関することや虐待事例について検討した。

（３）継続的、包括的マネジメント

①介護保険事業所研修会

開催年月日・場所	内容	参加者
平成 29 年 2 月 20 日 健康福祉センター	介護予防ケアマネジメント説明会	111 名

②医療・介護連携研究会の開催

開催年月日・場所	内容	参加者
平成 29 年 3 月 16 日 健康福祉センター	・医療・介護の地域連携について各団体から取り組み状況の報告（実務担当者向け） ・グループワーク	医療・介護関係者 51 名

③医療・介護連携検討会(いかしてネットかしわら)の開催

開催年月日	場所	検討内容
平成 28 年 6 月 2 日	健康福祉センター	平成 27 年度活動報告　平成 28 年度活動計画
平成 28 年 12 月 15 日	健康福祉センター	医療・介護連携について各団体の取り組み状況について
平成 29 年 3 月 16 日	健康福祉センター	研修会の振り返り

④地域ケア個別会議の開催

開催年月日	参加者
平成 28 年 9 月 29 日	民生委員、福祉委員、近隣住民、CSW、市役所、包括
平成 28 年 11 月 30 日	本人、ケアマネジャー、介護保険サービス事業所、市役所、CSW、包括

⑤認知症対応型共同生活介護・地域密着型通所介護運営推進会議参加状況

事業所名	回数
グループホームローズガーデン	6 回
グループホーム神田イン国分	6 回
グループホーム柏原	6 回
グループホームここから柏原	6 回
グループホームかがやき	6 回
地域密着型高齢者施設太寿	5 回
グループホームつばき柏原	4 回
うぃるグループホーム柏原	2 回

事業所名	回数
グリーンデル柏原デイサービスセンター	1 回
でいるーむ・かがやき	2 回
デイサービスあきやまじゅく	1 回
デイサービスきょうこちゃんち	1 回
デイサービスステーション四葉	2 回
ミック健康の森　柏原	1 回

⑥四市（柏原市・羽曳野市・松原市・藤井寺市）地域包括支援センター懇談会

開催年月日	場所	検討内容
平成 28 年 7 月 4 日	藤井寺市立福祉会館	各専門部会の報告、総合事業の進捗状況
平成 28 年 10 月 31 日	羽曳野市役所	各専門部会の報告、総合事業について、国保連合会との情報交換

平成 29 年 3 月 7 日	松原テラス	各専門部会の報告、介護予防・日常生活支援総合事業の進捗状況

⑦地域包括支援センターブランチ連携会議の開催

開催年月日	場所	検討内容
平成 28 年 5 月 13 日	健康福祉センター	平成 28 年度の活動内容
平成 28 年 9 月 16 日	健康福祉センター	相談実績報告、ふれあい広場の役割分担、啓発活動
平成 29 年 3 月 23 日	健康福祉センター	平成 28 年度事業活動報告、平成 29 年度事業計画、相談実績報告

⑧地域あんしん事業

一人暮らし台帳登録をされている高齢者のうち希望される方や見守りの必要な方の訪問事業で、平成 28 年度は柏原地区 572 名、堅下地区 491 名、国分地区 509 名、堅上地区 71 名の計 1,643 名の見守り訪問や情報収集により状態把握を行った。見守り検討委員会には計 20 名の民生委員の参加もあり、情報・対応の共有、関係者間の連携が図れた。

○見守り検討委員会（エリア会議）
柏原地区　11 回開催
堅下地区　12 回開催
国分・堅下地区　12 回開催

○民生・児童委員協議会との意見交換会実施　　計 9 地区
（堅下北、堅下中、堅下南、柏原西、柏原東、国分東、国分中、国分西、堅上）

（４）介護予防ケアマネジメントの実施

要支援 1.2 と認定された方に介護予防サービス計画の作成・調整を行った。

高齢者いきいき元気センター	居宅介護支援事業所（委託件数）
7,088　件(見込み)	3,924　件(見込み)

（５）認知症高齢者への地域支援の推進

「認知症になっても　安心して暮らせるまち」を目指して、「認知症サポーター養成講座の開催」を行い、その活動を支援した。

○認知症サポーター養成講座開催回数　10 回
○養成人数　297 名（年間目標は 240 人）

（６）認知症地域推進員事業

認知症の相談窓口の強化、市民への認知症についての啓発、医療・介護・地域とのネットワーク作りを通して、「認知症になっても、安心して暮らせるまち」を目指した。

○相談件数　延べ340回
○認知症啓発出張講座　13回　372人
○医療・介護連携研究会　1 回参加
医療・介護連携検討会　2回参加
地域サロン等への訪問　延べ118ヶ所
介護事業所等への訪問　延べ71ヶ所
病院・診療所等への訪問　延べ37ヶ所

○認知症カフェ
カフェほのぼの（ふれあいの家ほのぼの）　開催数２３回　延べ参加者２５５人
カフェいどばた（ふれあい館オガタ）　開催数　２回　延べ参加者　２０人
○その他
9月の「認知症をもっと身近に知る月間」を市高齢介護課と共同企画・開催

（７）家族介護支援事業

①家族介護者教室

全5回実施。延べ96名参加。　実95名参加
ブランチの活用として2ヵ所で実施し、ブランチの啓発も行なった。

開催年月日 場所	内容	参加者
平成28年6月16日 健康福祉センター	「いつまでも元気な体作り」 高齢者に起こりやすい体の変化についての講話とリフレッシュ体操	20名
平成28年7月28日 国分図書館		32名
平成28年11月19日 特別養護老人ホームはくとう	「介護の技術や工夫について」 立ち座りや歩行が不安定な方の身体介護 認知症の理解や接し方について	20名
平成28年12月17日 旭ヶ丘コイノニアガーデン		13名
平成29年2月18日 健康福祉センター	「介護離職をしないために」 制度や実情を知り、介護の為に離職をしない方法を学ぶ	11名

②認知症家族介護者の会「いどばた」の開催

定例会は10回（内2回はカフェいどばた）、第二火曜日に開催。認知症当事者の家族同士の情報交換が行えた。また、相談に対しては専門職が対応した。6/8、11/11はグループホーム連絡会主催（認知症キャラバンによる講義、ご家族の体験談、消防組合からの講義）で実施した。

（８）介護用品（おむつ）支給事業

在宅でおむつを使用している高齢者（介護度3以上で非課税世帯）におむつを現物支給（1ヶ月当り5,000円限度）、重度障がい者におむつを現物支給（1ヶ月当り3,500円限度）することによって、家庭における経済的、精神的負担の軽減を図った。

	対象	のべ利用者数	助成金額
市受託事業	高齢者	698人	3,332,956円
社協事業	重度障がい者	337人	1,050,524円

（９）介護予防・日常生活支援総合事業（訪問型サービス・通所型サービス）の準備

一般介護予防事業の住民主体の居場所作りとして柏原市いきいき百歳体操実施サロンの立ち上げ支援の実施
週2回実施団体1ヵ所　　週1回実施団体5ヶ所

月 2 回実施団体 9 ヵ所　　月 1 回実施団体 1 ヵ所

４．介護予防事業

（１）地域リハビリテーション活動支援の推進

65 歳以上の高齢者が特に運動機能面の維持、向上を目指し、要介護状態等になることを予防するためにリハビリテーションの専門職と地域包括支援センターが連携しながら介護予防の推進を行なった。

○オアシスいきいき百歳体操講座

年間開催回数	22 回
開催場所	健康福祉センター
年間参加実人数	85 人
年間参加のべ人数	527 人

○てんとうむし教室(個別集中運動機能向上教室)

年間開催回数	22 回
開催場所	健康福祉センター
年間参加実人数	6 人
年間参加のべ人数	44 人

○リハビリ・介護予防に関する相談件数　　263 件

○訪問回数　　延べ 27 件

（２）地域介護予防活動支援の充実

総合事業の一般介護予防事業の住民主体の居場所作りにむけて、柏原市いきいき百歳体操を中心としたサロン立ち上げへの取り組みとして出前講座を実施した。また、取り組みの働きかけとして地域全体で介護予防への取り組みをする重要性を認識してもらうようにいきいき元気センターが主体で3回完結の「いきいき元気塾」を実施した。

①柏原市いきいき百歳体操出前講座実施状況

年間開催回数	89 回
実施団体数	25 団体
延べ参加人数	1,487 人
参加実人数	656 人
実施内容	運動機能向上プログラム　介護予防講話　柏原市いきいき百歳体操　握力測定(週 1 回以上実施団体のみ)

②いきいき元気塾

年間開催回数	6 回
実施団体数	2 団体
延べ参加人数	76 人
参加実人数	30 人

実施内容	運動機能向上プログラム、認知症予防プログラム、 口周り機能プログラム

③地域介護予防推進員の養成講座の開催

要介護状態にならないように介護予防と健康・生きがいづくりの啓発を行い、その活動のリーダーとなる人を養成するための講座を開催した。

開催年月日	場所	項目	講師
平成28年9月27日	健康福祉ｾﾝﾀｰ	・地域介護予防推進員とは ・認知症について	高齢者いきいき元気ｾﾝﾀｰ 認知症サポート医
平成28年10月4日	健康福祉ｾﾝﾀｰ	・筋肉モリモリ栄養講座 ・柏原市いきいき百歳体操	管理栄養士 理学療法士
平成28年10月11日	健康福祉ｾﾝﾀｰ	・実際の地域サロンについて ・健康は口腔ケアから	介護予防サポーターズ 歯科衛生士
平成28年10月18日	健康福祉ｾﾝﾀｰ	・介護予防について ・レクレーションの進め方	保健師 社会福祉士
平成28年10月25日	健康福祉ｾﾝﾀｰ	・ボランティア活動とは ・今後の活動について他	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｾﾝﾀｰ 高齢者いきいき元気ｾﾝﾀｰ

④地域介護予防サロンの活動支援

地域で実施する介護予防講座等の開催の相談・指導等を行い、その活動を支援した。

○地域介護予防教室　　（介護予防サポーターズ運営含む）

教室名	開催場所	開　催回数	のべ参加数	内容
いきいきサロン	オアシス	12 回	850 人	音楽活動,健康講話
いきいきサロン若返り	市民交流ひろば	12 回	448 人	運動指導士による運動
旭ヶ丘 3,4 丁目サロン	旭ヶ丘 3,4 丁目会館	20 回	652 人	音楽活動等
物忘れ予防サロン	オアシス	9 回	450 人	簡単算数、パズル等
敬寿会サロン	円明老人会館	12 回	313 人	運動指導士による運動
青谷サロン	堅上コミュニティ会館	12 回	172 人	健康講話とラジオ体操
木曜会	本郷会館(新館)	12 回	158 人	運動指導士による運動 柏原市いきいき百歳体操
ふれあいの家ほのぼの	ふれあいの家ほのぼの	12 回	108 人	音楽活動、健康講話 脳トレ等
玉手長寿会サロン	玉手老人いこいの家	12 回	272 人	健康講座 柏原市いきいき百歳体操
あすなろサロン	旭ヶ丘 3 丁目第 1 区会館	19 回	273 人	健康講座、音楽レク等 柏原市いきいき百歳体操
いきいき元気古町サロン	柏原南コミュニティ会館	12 回	200 人	健康講話、認知症レク等 柏原市いきいき百歳体操

５．高齢者支援事業

（１）老人クラブ連合会活動支援

おおむね 60 歳以上の高齢者の心身の健康の保持に資するための教養講座、レクリエーションその他教養・健康増進活動のために高齢者が自主的かつ積極的に参加することができることを目的とした事業を実施し、その支援を行った。

老人クラブ単位数	会員数
68 クラブ	3,969 人

○活動内容

各単位クラブ補助金申請手続　　4 月
総会　　5 月 10 日
敬老旅行　　10 月
高齢者演芸大会　　11 月 29 日（リビエールホール）
新年互礼会　　1 月 13 日(柏原市老人福祉センターやすらぎの園)
指導者研修会　　2 月 16・17 日（愛知県日進市）
大阪府老人クラブ連合会各種事業への参加
大阪府老人クラブ連合会若手委員会研修への参加
シルバーヘルススポーツ講習会　　6 月～11 月　全 8 回　　のべ参加者　260 名
シニア大学講座　　6 月～11 月　全 10 回　　のべ参加者　700 名
高齢者福祉作品展　　8 月 30・31 日
高齢者福祉大会　　9 月 19 日

（２）在宅高齢者・障がい者給食サービス

食事作りが困難な在宅の高齢者や重度障がい者に対して、栄養のバランスのとれた食事の定期的な提供を通じて栄養改善による健康の維持、疾病の予防を図るとともに、配食時に安否確認などを行うことにより、高齢者等の在宅生活を支援することを目的としてサービスを提供した。

○月曜日～金曜日の毎日、ボランティアが中心となって調理し、昼食弁当を各戸個別に配食している。

年間延配食数	9,874　食	年間利用実人員	76　人
年間配食日数	243　日	独居高齢者	64　人
高齢者配食数	9,680　食	高齢者のみ世帯	4　人
障がい者配食数	194　食	昼間独居高齢者	6　人
		障がい者	2　人

調理ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ数	91　人	配食ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ数	18　人

○食品衛生講習会　　7 月 8 日（調理ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ参加）
○視察研修会　　7 月 2 日（酒造記念館、48 名参加）
○調理ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ班長会議　　6 回開催

６　介護保険等事業

サービスの質の向上と経営基盤の強化を目的に事業所経営会議を月 1 回開催し事業拡充と経営の安定に努めた。また利用者ニーズに寄り添った対応を実施し、事業の効率化を進め、サービス利用についてのアンケート調査を実施し、顧客満足度を高めた。今年度は地域に根付いた事業所としての活動を推進するため、11 月に片山町にケアプランこくぶを移転し、次年度 4 月からは同場所でヘルパーステーションこくぶ開設のため、準備を

進めた。

（1） 居宅介護支援事業所ケアプランかしわら

特定事業所として主任介護支援専門員を配置し4月～10月まで特定事業所加算（Ⅱ）11月～3月まで特定事業所加算（Ⅲ）を取得した。福祉、医療関係者との連携を図り、利用者とその家族に応じた支援を行った。また、万が一の災害に備え、マニュアルを見直し、災害用伝言ダイヤルを活用した訓練を毎月１日に行い、職員の連携が常にとれるように取り組んだ。

○職員体制（平成29年3月末現在）

	常勤	非常勤
管理者兼主任介護支援専門員	1名	
介護支援専門員	2名	4名

常勤換算　6.1名

○介護度別利用状況（平成29年3月末現在）

要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	合計
5	8	51	42	26	19	10	161人

○要介護認定調査（他市町からの委託分）　合計14件

大阪市	羽曳野市	和泉市	名張市	八幡市	泉佐野市	宇陀市	小浜市
4	3	1	1	1	1	1	1

安堵町
1

○各加算件数

特定事業所加算Ⅱ	特定事業所加算Ⅲ	初回加算	医療連携加算	退院退所加算
1161	776	59	94	17

○新規相談件数　合計73件

家族・本人	病院関係	地域包括支援センター	その他
25	14	31	3

○外部研修

研修内容	人数
人権	6名
医療連携	12名
障がい	4名
虐待	2名
介護支援専門員研修	4名
計	28名

○アンケート調査

実施期間	配布数	回収数	回収率
9月～10月	170	153	90%

○ヒヤリハット報告件数　5件

○ホームページの更新

アンケート集計結果の報告等

（2）居宅介護支援事業所ケアプランこくぶ

法人内2ヶ所目の居宅介護支援事業所として平成25年11月の開所以来、国分地区を中心とした利用者の獲得を進めてきたが、平成28年11月に事務所を国分本町より片山町に移転し、ケアプランかしわらとも連携を取りつつ、事業運営を行った。

また、「ブランチこくぶ」という地域包括支援センターのブランチの一つとして、高齢者の総合相談の地域の身近な相談窓口として、国分地区の地域住民を中心に相談対応を行った。新しい事務所が府道堺大和高田線沿いの交差点の一角にあるということもあり、相談対応件数は移転前と比較し、約1.6倍となった。

○職員体制

	常勤	非常勤
管理者	1名	
主任介護支援専門員	1名	0名
介護支援専門員	2名	3名

常勤換算 6.0 名

○介護度別利用状況（平成 29 年 3 月末現在）

要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	合計
16	18	51	37	18	12	12	164 人

○要介護認定調査（他市町からの委託分）　合計 18 件

大阪市	羽曳野市	世羅町	香芝市	葛城市	田原本町
11	3	1	1	1	1

○各加算件数

特定事業所加算Ⅱ	初回加算	医療連携加算	退院退所加算
1492	60	90	11

○外部研修

研修内容	人数
人権	7名
医療連携	9名
障がい	2名
虐待	1名
介護支援専門員研修	2名
その他	15名
計	36名

○アンケート調査

実施期間	配布数	回収数	回収率
9月～10月	113	97	85.8%

○地域包括支援センターブランチこくぶ　相談受付件数

家族・本人	病院関係	地域包括支援センター等関係機関	その他
41	7	60	9

（3）柏原市訪問看護ステーション

介護保険法・健康保険法による指定を受けたステーションとして、医療的支援が必要な利用者や、がん末期患者、神経難病患者、重度障がい者等に看護サービスを行った。また、緊急時訪問看護加算(医療は 24 時間対応体制加算)を算定できる体制を維持し、療養者が安

心して在宅生活を送れるようかかりつけ医と連携を図りながら支援している。

○職員体制(平成 29 年 3 月末現在)

	常勤	非常勤
管理者	1 名	0 名
看護師	5 名	1 名
理学療法士	1 名	4 名

○介護度別利用状況（平成 29 年 3 月末現在）

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	申請中	合計
2	2	10	7	4	9	11	1	46 人

○医療保険利用状況（平成 28 年度延べ人数）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
後期高齢	2	4	3	4	4	4	5	4	4	4	4	3	45 人
医療保険	8	9	8	11	9	8	9	7	7	7	7	9	99 人

○月別利用状況

介護保険請求対象者（延べ回数。但し、理学療法士の訪問は、20 分毎に 1 回でカウント）

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
616	627	666	620	597	585	540	646	577	524	518	621	7,137 回

医療保険対象者（延べ回数）

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
102	108	92	100	101	106	148	142	134	135	147	143	1,458 回

○研修・視察等

研修内容	人数
人権	10 名
災害	1 名
医療連携	1 名
感染症・食中毒	2 名
専門職関係	31 名
認知症	1 名
虐待防止	1 名
その他	3 名
計	50 名

○主な会議の出席状況

内容	回数
大阪府訪問看護ステーション協議会中河内ブロック役員会	6 回
東大阪市立総合病院地域連携会議	5 回
柏原市内の医師と介護保険事業所の連携研究会	3 回
難病地域ケア推進会議	1 回

○アンケート調査

	実施期間	配布数	回収数	回収率
継続利用者	平成28年12月1日～31日	41	36	87%
新規利用者	利用開始後3か月目安	22	18	81%

○ヒヤリハット報告　8件、事故報告　9件、苦情報告　1件

○ホームページの更新、訪問看護通信の発行
訪問看護の取り組みやトピックスを「ほのぼの通信」として利用者・関係機関に向けて発行し、それに合わせてホームページを年2回更新。
○実習生の受け入れ
関西看護専門学校実習生　14 名
大阪保健福祉専門学校　看護通信教育科過程実習生　10 名

（4）柏原市訪問介護センター・柏原市在宅障がい者居宅介護センター

さまざまな専門職と連携を強化し、利用者が宅で過ごせる支援を充分行えるように職員の知識と技術の向上に努めました。また、法人２ヵ所目の事業所をこくぶに開設する準備を行いました。

○職員体制

	資格	常勤	非常勤	登録ヘルパー
管理者(サ責兼務)	介護福祉士	1 名		
サービス提供責任者	介護福祉士	3 名	6名	
訪問介護員	介護福祉士	0 名	5名	19名
	ヘルパー２級	0 名	0名	19名
	初任者研修	0 名	0名	2名

介護福祉士資格取得率60.7%

○介護保険法ヘルパー派遣事業　（柏原市訪問介護センター）
要介護・要支援の認定を受けた高齢者にサービスを提供
○介護度別利用者状況（H29.3 月実績）

要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	合計
23	42	30	28	13	8	5	149 名

○障がい者総合支援法ヘルパー派遣事業（柏原市在宅障がい者居宅介護センター）
「居宅介護」「重度訪問介護」「同行援護」、柏原市地域生活支援事業に基づき、「移動支援サービス」のサービスを提供

○障がい者の利用者状況

居宅介護	重度訪問介護	同行援護	移動支援	合計
62	2	9	8	81名

○柏原市育児支援家庭訪問事業受託実績
柏原市からの受託事業として、産後8週間以内の産婦に対してサービスを提供
利用状況　依頼数は２件あったが、サービス利用に繋がらず実績なし

○アンケート調査

実施期間	配布数	回収数	回収率
11月～12月	147	124	84.3%

○外部研修

研修内容	人数
マナー・接遇	3名
人権	12名

○内部ミニ研修　（参加数55名）

	研修内容
4月	法令遵守、個人情報の保護
6月	食中毒・感染症

感染症・食中毒	2名
障がい者福祉	2名
資格	7名
虐待	1名
その他 （医療・介護技術等）	25名
合計	52名

8月	災害について（災害訓練含む）
9月	認知症について
10月	虐待について
11月	冬の感染症
2月	全体研修（グループワーク） 欠席者･･･レポート研修

7　障がい者支援・福祉サービス事業（自立支援センター）

(1) 柏原市障がい者生活支援センター（ピアセンターかしわら）

障がい者やその家族の方に対し、福祉サービスの利用援助、社会資源の活用や社会生活力を高めるための支援、ピアカウンセリング、介護相談、情報提供を行い、地域における生活支援を実施している。今年度も障害者自立支援協議会で地域課題の抽出と分析を行い、課題整理と評価を行った。

①　一般相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	69	70	82	38	70	88	107	49	43	67	87	58	828

○支援方法

訪問	来所	同行	電話・FAX	メール	個別支援会議	関係機関	その他
23	190	15	529	55	2	12	2

○障がい別

＊重複障がいのケースは、それぞれの障がい（知的と精神の重複の場合は「知的」及び「精神」にカウント）に計上する。

身体	知的	精神	発達障がい	高次脳機能障がい	その他
12	198	438	1	3	160

○内容別（相談内容に含まれるものは、すべてカウント）

内容	件数	内容	件数
福祉サービスの利用などに関する	76	家計・経済に関する	64
障がいや病状の理解に関する	24	生活技術に関する	55
健康・医療に関する	84	就労に関する	29
不安の解消、情緒安定に関する	176	社会参加・余暇活動に関する	54
保育・教育に関する	0	権利擁護に関する	15
家族関係・人間関係に関する	81	その他	288

②計画相談（指定特定相談支援、障がい児相談支援、地域定着）

指定特定相談支援	障がい児相談支援	地域定着支援
81件	13件	0件

③出張相談場所の提供

八尾・柏原　障がい者就業・生活支援センター（就労相談）

毎月　第4金曜日　13時00分～17時00分

④ 福祉教育

○ピアカウンセラーによる出張講演（年16回）

○ピアセンター職員による出張講演（年3回）

⑤ ピアカウンセラーによる相談業務　（肢体・聴覚・視覚それぞれ毎月1回）

ピアカウンセラーサロン（年5回）障害者週間啓発（柏原駅）

⑥ 機関紙の発行　年4回『広報紙ぴあかしわら』発行

⑦ 広報かしわら・社協かしわらなどによる広報活動

⑧ 講座の開催

○手芸・ディスコン・音楽・クリスマス会・パーカッション（障がい者対象）

○パソコン講座（初級・中級）:ITステーションと連携（障がい者対象）

⑨ 啓発講座　9/7こころの健康講座開催　全1回（一般対象）

11/23第１回かしわら探検隊（小学生対象）

⑩ 柏原市障害者自立支援協議会の運営

障がい者の自立と社会参加の実現をめざし，関係機関のネットワークづくり、地域課題抽出から解決までのPDCAサイクルの運用、部会活動の充実に取り組んだ。

⑪車いすの貸し出し

申込み（控）に社協内相談窓口を掲載し、車イスを借りた方が他に困っていることがあれば社会資源につながるように工夫をした。

貸し出し延べ台数　138台

貸し出し理由：通院、散歩、日常生活、行事（花見、帰省等旅行）等

貸し出し期間：3ケ月以内（更新可能　最長６ケ月）

（２）肢体不自由児訓練事業

運動発達に障がいや遅れなどのある児童に機能訓練を行い、運動能力の改善を行う。また保護者には日常生活のなかで活かせるように指導を行う。

○在籍児　　２名　（平成 29 年 3 月末現在）

乳児	幼児	小学生	中学生	高校生
0 人	1 人	0 人	1 人	0 人

○利用状況

開室日数	29 日			
利用人数	延べ 24 人			
	内訳	機能訓練	延べ	18 人
		ST 訓練	延べ	2 人
		相談	延べ	1 人
		診察	延べ	3 人

＊機能訓練：週一回を原則に個別に 45 分間、理学療法士による運動機能訓練を基本に行う。

＊診察　　：嘱託医による定期診察…年１回行う。

＊相談　　：随時（入所相談）

ST 個別訓練を実施し、2 名が受ける。

（３）柏原市療育教室

目的：療育が必要なおおむね 2 歳～4 歳の幼児とその保護者を支援する教室

①　自立支援センターでの保育

それぞれの幼児の発達段階や障がいの違い（身体的・知的）に応じてより細やかな療育に取り組めるように 2 つのグループに分けて保育を行った。

うさぎグループ（1 才児中心　親子同室保育）

ぱんだグループ（2,3 才児　一部親子分離保育）

感覚あそび、散歩、運動遊び、水遊び、製作などに取り組んだ。

また、季節に応じた行事を実施。助言や他機関との連絡調整を行った。

○月別利用状況（児童数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ぱんだ	125	121	121	93	76	87	89	109	123	119	153	126	1,342
うさぎ	15	22	21	30	26	43	47	49	60	65	82	69	529
合計	140	143	142	123	102	130	136	158	183	184	235	195	1,871
日数	19	23	20	21	20	21	20	19	19	19	20	17	238

（4）柏原市障がい者虐待防止センター

虐待の防止、早期発見、虐待を受けた障がい者に対する保護や自立の支援、養護者に対する支援などを行うとともに、関係機関及び民間団体との連携強化に取り組んだ。

① 相談件数

○通報・届け出（件数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
通報	1	2	0	1	0	1	1	1	1	3	2	0	12
届け出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

通報…虐待を受けた本人以外からの相談

届け出…虐待を受けた本人からの相談

○通報・届け出対応（回数）

個別訪問	59
ケース会議	34

○虐待認定（件数）

虐待と認定	虐待でないと認定	事実確認継続	合計
2	6	5	13

○被虐待者との関係

養護者	施設従事者	使用者	自己放棄	合計
1	1	0	0	2

○虐待対応(述べ件数)

分離支援	措置による入所	緊急一時保護	医療機関に入院	契約による入所	合計
	0	0	0	1	1
非分離支援	助言・指導	福祉サービス	福祉サービス以外のサービス	見守り	合計
	30	3	1	19	53

○虐待種別（重複）

身体的虐待	介護・世話の放棄放任	心理的虐待	性的虐待	経済的虐待	自己放棄
2	0	0	0	0	0

○障がい種別（重複）

身体	知的	精神	発達障がい
1	2	0	0

○相談（件数）

被虐待者	31	虐待者	27	家族・親族	19
警察・消防	2	相談員	51	施設職員	10
管理者等	2	サービス事業所	30	医療機関	20
市役所職員	84	社協職員	114	その他	13

※その他　1 件　大阪南労働基準監督署　　12 件　立入調査施設利用者

合計 403 件

②柏原市高齢者・障がい者虐待防止連携会議

高齢者いきいき元気センター（包括）と連携し、柏原市で生じた虐待案件の事例検討等を通じ、情報共有を図るための会議を継続して開催した。

③柏原市高齢者・障がい者虐待防止ネットワーク会議

柏原市障がい者虐待防止ネットワーク会議を開催し、前年度に配布した意識調査アンケートに対する回答を関係者に報告した。

④柏原市高齢者・障がい者虐待防止ネットワーク研修会

虐待防止の広報啓発活動としてグループワークを含む研修会を開催した。

日時：平成 29 年 2 月 24 日　　場所：健康福祉センターオアシス

⑤児童分野との連携のため引き続き柏原市要保護児童対策地域協議会に参加した。

（５）障害福祉サービスわくわく（生活介護）

開所日	利用定員	事業の目的
月～土 祝日含む	12人	利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った自立の促進、生活の向上を図る。
開所日数	のべ利用者数	活動内容
306日	1906人	個別の運動・作業、集団レクリエーション、生産活動外出、誕生日会、季節の行事の開催

契約者数19名（内新規契約者2名）平成29年3月31日現在

○利用者・家族向けの生活介護だよりを月 1 回発行。○生産活動の実施。

※生産活動実施者　5 名　生産活動総時間数　59.5 時間　総支払工賃　2,710 円/年

○月 1 回の籐工芸・手芸をボランティアに依頼し実施。

その他、年 15 回ボランティアを依頼し、季節の行事、レクリエーションを実施。

○誕生日会を実施。内容については職員の出し物やボランティアに協力を得た。

○就労継続支援B型と共同で納涼祭、クリスマス会を開催。

（６）障害福祉サービスわくわく（児童発達支援）

開所日	利用定員	事業の目的
月～金 祝日除く	10人	利用者が日常生活における基本動作および知識技能を習得し、ならびに集団生活に適応することができるよう適切な指導及び訓練を行う。

開所日数	のべ利用者数	活動内容
242日	983人	昼食(持参の弁当)の介助を行う。咀嚼や飲み込みのトレーニングをする。午睡をとらせ生活リズムを整える。個々の児童に適したコミュニケーション方法を使うための援助を行う。小集団での遊びを通して社会性を身に着ける。

契約者数17名（内新規契約者7名）　平成29年3月31日現在

（７）障害福祉サービスわくわく（就労継続支援B型）

開所日	利用定員	事業の目的
月～金 祝日除く	28人	利用者が、地域との関わりを持ち、働くことに生きる喜びを感じながら、生活の向上、自立を図ることを目的とする。
開所日数	のべ利用者数	作業内容
244日	4,250人	包装・帯つけ、ラベル貼り、袋詰め等作業

契約者数27名（内新規契約者6名）　平成29年3月31日現在

○今年度、試行的に祝日を２日間開所。
○市内他事業所の行事に模擬店を出店。
　高井田苑：高井田苑祭り　　夢工房くるみ：くるみ秋祭り
○柏原市作業所連絡会主催の文化祭・ボウリング大会に参加。
○生活介護と共同で納涼祭、クリスマス会を実施。

８　柏原市老人福祉センター（やすらぎの園）

センター利用状況

月	開所日	利用者数(人)	日平均(人)
4	25	3573	142
5	23	2892	125
6	26	3594	138
7	25	3501	140
8	26	3422	131
9	24	3698	154
１０	25	3491	139
１１	24	3633	151
１２	23	3242	140
1	23	3367	146
2	23	3577	155
3	26	3597	138
合計	294	41587	

福祉施設・ボランティアグループの自主制作作品の展示販売・リサイクル資源の回収に協力
・小規模授産施設「たんぽぽ」・・・手芸作品展示販売・入浴用タオル・石鹸販売
・柏原子ども教室☆い・ち・み☆・・・リサイクル資源（段ボール）回収
・夢工房くるみ・・・リサイクル資源（アルミ缶）回収
・ボランティアグループ　コスモス・・・　介護予防用品展示販売
・障がい福祉サービスわくわく・・・手芸作品展示販売
就労準備支援事業２名受け入れ